

□ 保健福祉学部コミュニケーション障害学科 (平成31年度入学生用)

授業科目の名称		配当年次	前後期別 前期 後期	単位数 必修 選択	授業 時間数	担当教員 () は学外講師	備考	
保健福祉学部コミュニケーション障害学科								
全 学 共 通 教 育 科 目	初年次導入	大学基礎セミナー	1	○	1	30	沖ほか	1単位修得
	基 盤 語	英語 I	1	○	1	30	高島	10単位(必修科目を含む。)以上修得 (ただし、中国語、ドイツ語を選択する場合、IとIIを合わせて修得しなければ、上記の10単位には含まれない)
		英語 II	1	○	1	30	本岡	
		英語 III	2	○	1	30	—	
		英語 IV	2	○	1	30	—	
		英語表現 I	1	○	1	30	(ビュートウ)	
		英語表現 II	1	○	1	30	黒飛	
		英語表現 III	2	○	1	30	—	
		英語表現 IV	2	○	1	30	—	
		検定英語 I	1	○	1	30	本岡・高島	
		検定英語 II	1	○	1	30	本岡・高島	
		資格英語 I	1~4	認定	認定	1	本岡	
		資格英語 II	1~4	認定	認定	1	本岡	
		中国語 I	1	○	1	30	(徐)	
		中国語 II	1	○	1	30	(徐)	
	ドイツ語 I	1	○	1	30	(小田)		
	ドイツ語 II	1	○	1	30	(小田)		
	アカデミック日本語 I	1	○	1	30	中石	(アカデミック日本語は留学生のみ履修可)	
	アカデミック日本語 II	1	○	1	30	中石		
	アカデミック日本語 III	1	○	1	30	中石		
	アカデミック日本語 IV	1	○	1	30	中石		
	情報	情報リテラシー	1	○	2	30	川原田	3単位(必修科目を含む。)以上修得
		情報リテラシー演習	1	○	1	30	川原田	
		ITパスポート検定	1~4	○	1	30	小川	
	保健体育	体育実技 I	1	○	1	30	(原)	2単位(必修科目を含む。)以上修得
		体育実技 II	2~4	○	1	30	—	
		保健体育理論	1	○	2	30	楠堀	
キャリア	キャリアアデバロップメント	1	○	2	30	原田(淳)	2単位以上修得	
	キャリアビジョン	2	○	2	30	—		
	インターンシップ	2・3	○	2	60	—		
	ライフデザイン	3・4	○	2	30	—		
教 養 系	人文系	日本語表現	1・2	○	2	30	西本	2単位以上修得
		哲学	1・2	○	2	30	大草	
		教育学	1・2	○	2	30	藤井(宣)	
		倫理学	1・2	○	2	30	大草	
		心理学	1・2	○	2	30	古屋	
		歴史学	1・2	○	2	30	秋山	
		文学	1・2	○	2	30	五條	
	社会系	文化人類学	1・2	○	2	30	上水流	2単位以上修得
		日本国憲法	1・2	○	2	30	岡田(高)	
		経済学	1・2	○	2	30	(中嶋)	
		社会学	1・2	○	2	30	澤田	
		法学	1・2	○	2	30	岡田(高)	
		人権論	1・2	○	2	30	吉川・金子・江本・横須賀・手島	
		自然系	基礎数学	1・2	○	2	30	
統計学	2		○	2	30	—		
物質科学	1・2		○	2	30	大竹		
生活化学	1・2		○	2	30	長尾		
生命科学	1・2		○	2	30	加藤		
地球科学	1・2		○	2	30	(吉富)		
教養ゼミナール	2~4	○	2	30	担当教員			
広 島 と 世 界	県大生として学ぶ広島と世界	1・2	○	2	30	上水流・狩谷・本岡	2単位以上修得	
	地域の理解	1・2	○	2	30	五條・手島		
	地域情報発信論	2~4	○	2	30	吉田(倫)		
	ボランティア活動	1~4	○	2	30	手島		
	異文化としての日本	2	○	2	30	—		
	留学生と学ぶ広島	1・2	○	2	30	柳川・五條		
	宮島観光学入門	1~4	○	2	30	(ウェバー)・大知・西本・馬本		
	海外研修 I	1~4	認定	認定	2	本岡		
	海外研修 II	1~4	認定	認定	2	本岡		
自由選択 (※)						1単位以上修得		
小計(A)						27単位以上修得		

(※) 基盤・キャリア・教養・広島と世界から自由選択科目として1単位以上修得。

この他、他学部・他学科の専門科目、教育ネットワーク中国「単位互換制度」等他大学との連携による授業科目、海外の大学で開講された授業科目も自由選択科目とすることができる。

□ 保健福祉学部コミュニケーション障害学科 (平成31年度入学生用)

授業科目の名称	配当年次	前後期別		単位数		授業時間数	担当教員()は学外講師	備考
		前期	後期	必修	選択			
保健福祉学部コミュニケーション障害学科								
専門領域特有の科目 基礎科目	言語理論と言語心理	1	○	2		60	(林(良))・(松見)	13単位修得
	音声学	1	○	2		60	津田	
	音声・聴覚情報処理	1		○	3	60	伊集院	
	言語発達	1		○	1	30	細川・堀江・小島	
	生涯発達心理学	3	○		2	60	—	
	学習・認知の心理学	1	○		2	45	古屋	
	心理測定法	2		○	1	30	—	
専門領域特有の科目 専門必修科目	コミュニケーション障害学概論	1	○	2		60	城本・矢守・小澤・長谷川(純)・坊岡・佐藤(紀)・細川・堀江・渡辺(眞)・中村(文)・津田・小島	33単位修得
	コミュニケーション障害診断法	2		○	2	60	—	
	発達系障害学概論Ⅰ	2	○		2	60	—	
	発達系障害学概論Ⅱ	3	○		2	60	—	
	発達系障害学演習Ⅰ	3	○		1	30	—	
	発達系障害学演習Ⅱ	3		○	1	30	—	
	認知系障害学概論Ⅰ	2	○		2	60	—	
	認知系障害学概論Ⅱ	3	○		2	60	—	
	認知系障害学演習Ⅰ	3	○		1	30	—	
	認知系障害学演習Ⅱ	4	○		1	30	—	
	聴覚系障害学概論Ⅰ	2	○		2	60	—	
	聴覚系障害学概論Ⅱ	3	○		2	60	—	
	聴覚系障害学演習Ⅰ	2	○		1	30	—	
	聴覚系障害学演習Ⅱ	3	○		1	30	—	
	聴覚系障害学演習Ⅲ	4	○		1	30	—	
	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅰ	2	○		2	60	—	
	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅱ	2		○	2	60	—	
	発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ	3	○		2	60	—	
発声発語・嚥下系障害学演習Ⅰ	3	○		1	30	—		
発声発語・嚥下系障害学演習Ⅱ	3		○	2	45	—		
コミュニケーション科学研究法	3		○	1	30	—		
専門領域特有の科目 専門選択科目	高次脳機能障害特論Ⅰ(小児)	4		○	1	15	—	5単位以上修得
	失語症特論	4		○	1	15	—	
	拡大・代替コミュニケーション特論	4	○		1	15	—	
	心理測定法特論	3		○	1	15	—	
	音楽療法概論	4	○		1	15	—	
	言語情報科学特論	3	○		1	15	—	
	コミュニケーション福祉工学特論	4	○		1	15	—	
	ヘルス・コミュニケーション論	4	○		1	15	—	
	グループダイナミックス	2	○		1	15	—	
	対人コミュニケーション論	1		○	1	15	(辻村)	
臨床実習	臨床実習Ⅰ	2	○		1	40	—	15単位修得
	臨床実習Ⅱ	3	○		10	400	—	
	臨床実習Ⅲ	4	○		4	160	—	
卒業研究	4	○		4	120	—	4単位修得	
小計							70単位以上修得	
総合計							124単位以上修得	

履修制限について

保健福祉学部履修要領により、専門領域特有の科目(必修科目に限る)の履修は、次の要件を満たしていることを履修の条件とする。

ア 臨床実習Ⅱ

専門領域特有の科目のうち、臨床実習Ⅰ、発達系障害学概論Ⅰ、認知系障害学概論Ⅰ、聴覚系障害学概論Ⅰ、聴覚系障害学演習Ⅰ、発声発語・嚥下系障害学概論Ⅰ、発声発語・嚥下系障害学概論Ⅱ、コミュニケーション障害診断法の単位を修得していること。

イ 臨床実習Ⅲ

専門領域特有の科目のうち、臨床実習Ⅱ、発達系障害学概論Ⅱ、発達系障害学演習Ⅰ、発達系障害学演習Ⅱ、認知系障害学概論Ⅱ、認知系障害学演習Ⅰ、聴覚系障害学概論Ⅱ、聴覚系障害学演習Ⅱ、発声発語・嚥下系障害学概論Ⅲ、発声発語・嚥下系障害学演習Ⅰ、発声発語・嚥下系障害学演習Ⅱの単位を修得していること。